学校番号	211

令和８年度　理科（生物演習）

教科	理科	科目	生物演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	BIOLOGY「i 版　生物基礎」（啓林館出版）、高等学校　生物（啓林館）						
副教材等	センサー総合生物 3rd Edition						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまで学習してきた「生物基礎」と「生物」について授業内で扱いきれなかった内容を主に取り組んでいきます。生物の知識についてすでに学習している範囲は身に着けているものとして進んでいくこともあるため、自ら復習しておく姿勢を大事にしてください。

2　学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。
生命の多様性・共通性に気が付き、身の回りの生物への慈しみの心を育てるとともに、多くの生物が生きて成り立っているこの環境を保全する精神を養う。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a 知識・技能	b 思考･判断･表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理･原則を理解し､知識を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし､探求する過程を通して､事象を科学的に考察し､導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに､生物の共通性と多様性を常に意識するなど､科学的な見方や考え方を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生態と環境	・個体群と生物群集 ・生態系	a: 生物のまとまりを階層分けすることで生物の営みを知識として身に着けている。 b: 生物の種間、群集間による行動の違いの関連性を見出すことができている。また、見つけた事項について他者とも共有できる。 c: 自ら進んで課題に取り組み妥協していない内容になっている。	ワークシート	レポート	レポート 発表
2学期	生物の環境応答	・動物の行動 ・植物の環境応答	a: 刺激に応答する行動の仕組みを知識として整理し、日常と関連づけ身につけている。 b: 動物の行動と植物の行動の関係性を見出し、説明できている。 c: 生命現象に興味・関心を持ち主体的に探求し理解しようとしている。	テスト ワークシート	テスト レポート	ノート レポート 発表
3学期	演習	・総合まとめ演習				

※表中の観点について

a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度